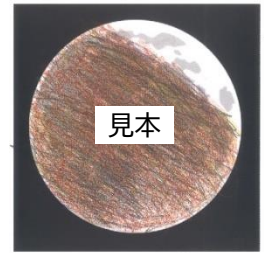


2021年5月26日 かい き げっしょくかんさつ 皆既月食観察シート

かん さつ ば しよ  
観察した場所：

な まえ  
観察した人の名前：



いろえんぴつ みぎ みほん つぎ うつ ちぎゅう かげ えが  
色鉛筆で右の「見本」のように月に映る地球の影を描いてみましょう。



StellaNavigator/AstroArts にて作図

き が つか いたことを書きましょう。

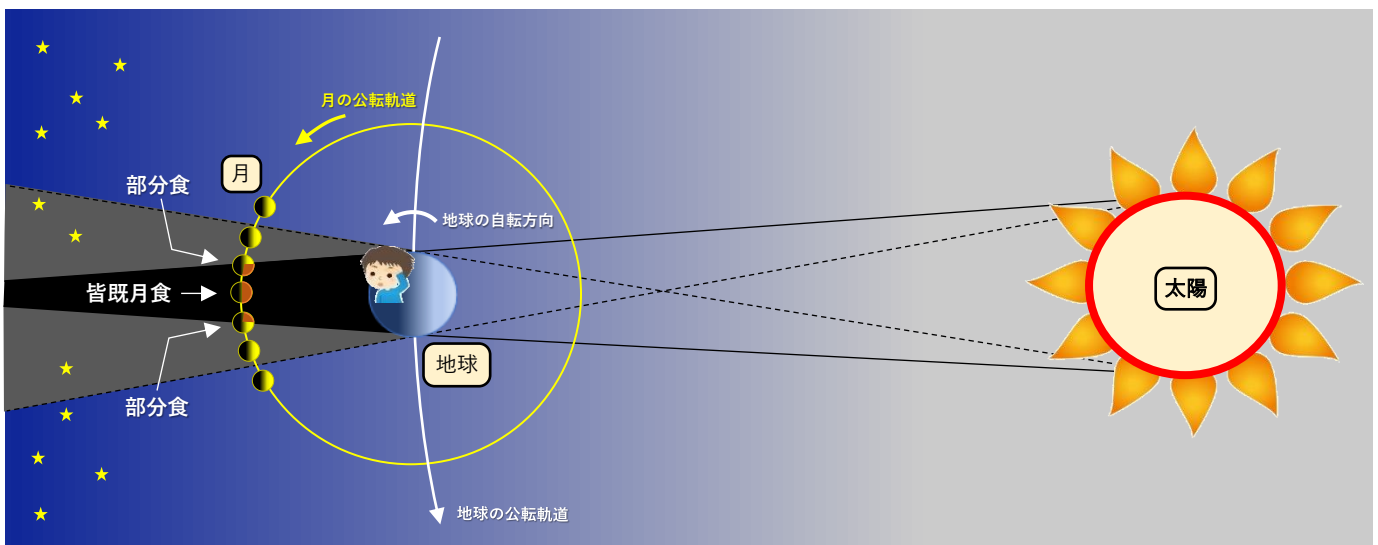
# 保護者の方へ

## 🌕 月食の概要

今回の皆既月食は、2018年7月以来3年ぶりのものです。食の最大(食甚<sup>しよくじん</sup>)が午後8時19分と、お子様にとって見やすい時間帯に起こりますので、是非いっしょにご覧になってください。

## 🌕 月食の原理

月は太陽の光を反射して輝いています。下の図のように、地球が太陽の光を遮り、その影の部分に月が入ると月食となります。月がすっぽり影に入ってしまうのが皆既月食です。月食は満月の晩に起こりますが、太陽、地球、月が一直線に並ぶときだけなので、満月の日に必ず起こるわけではありません。



## 🌕 観察の方法

月は東南東の地平線から昇り、時間が経過すると南の空へ移っていきます。月の出直後から欠けた月が見られます。昼間のうちに、東の空から南にかけて見晴らしがよい安全な場所をさがしておきましょう。

観察シートは、月食で欠けた月のようすを記録する用紙で、3枚のスケッチがとれます。月の変化を「皆既前・皆既中・皆既後」「皆既前に2枚・皆既中に1枚」など自由なタイミングで描いてみましょう。色鉛筆で欠けた部分の色も記録できるといいでしょう。皆既中は赤黒い(赤銅色とも表現されます)月の様子を見ることができます。

観察は肉眼でもできますが、オペラグラスや双眼鏡を使うとさらに見やすくなります。天体望遠鏡では表面の様相がいつ欠けたか、詳細な記録を取ることができます。

次回、船橋で見られる皆既月食は2022年11月8日です。

